

事業所名

たいようのはな

支援プログラム

作成日

6 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念		「おはよう!!たいよう!!やってみよう!!」自分を愛し、自分を信じ、どんな事にも挑戦できる児童に。								
支援方針		①アウトドアを通したワクワク脳育。（野外活動等身体を動かして五感を刺激し、脳の発育を促していきます。） ②社会人になるにあたっての経験療育。（お仕事体験、外部講師による経験活動、お金の使い方等、社会人になる上での必要スキルの習得を促していきます。）								
営業時間		9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において必要なトレーニング：（服の着脱、箸やスプーンの使い方等）遊びやゲームを用いて練習を行います。 衛生の支援、指導：手洗い、消毒、感染症の予防 危険回避の指導：避難訓練、火災訓練、地震や水害を想定した訓練を行います。また、キャンプ道具を使って防災訓練も行います。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 理学療法士による専門療育 トランポリンやバランスボードを使い、筋肉に刺激を与え、体幹やバランス感覚を養い身体の安定性を高めています。 キャンプインストラクターによる療育 薪割りや木登り等のアウトドア活動を通し、五感を刺激するだけでなく、運動機能向上にも繋がっています。 毎日のプログラムである沖縄の伝統芸能エイサーを通し、体の発育、ボディバランスの発育を促しています。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 絵カード、パズル、玩具を用いて、物の名前、色、形、大きさ、重さ、数の認知や理解を促します。 タブレットを使い、脳のワーキング拡大専門のアプリを取り入れワーキングメモリの向上、集中力の拡大に繋がっています。 ルールや守る必要がある事の認知や理解を（集団では遊びの中で、個別では話しや絵や文字を使って）促します。 								
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 経験や、遊びの中で、言葉を理解したり、表現できるよう働きかけます。 話を聞いて相手の気持ちを理解したり、自分の思いを言葉で伝えることができるようにしていきます。 なぜ良い事なのか？ なぜ悪い事なのか？をコーチングします。 								
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団でのアウトドア活動の中で、人と関わることの楽しさがわかり、相手との信頼関係を築くことで、周囲の人とも安定した関係にしていける様にしていきます。 集団指導で友達と関わる楽しさや、交代、順番などのルールを守り、主張したり合わせたりして、仲良く遊ぶ事が出来る様にしていきます。 気持ちのコントロールや切り替え、折り合いをつける練習をしていきます。 								
家族支援		半年に1回以上の保護者と面談を行います。毎回利用後の連絡帳を通し、利用状況をお伝えし、成長した所、成長の課題、総合的評価をお伝えします。 お困り事の相談、アドバイス等を行います。				移行支援		保育園、小中高校のステップアップに備えてスムーズに適切な支援が受けられる様にします。		
地域支援・地域連携		幼稚園、保育園、小中高校に訪問し、活動の様子を見せていただいたり、保育士、学校の先生と情報共有をし、連携をして発達を促していきます。				職員の質の向上		週一回、外部講師である発育発達アドバイザーの研修を受け、知識増加、能力拡大に繋がっています。 また、年二回の虐待防止・身体拘束等の適正化に関する研修を行い知識理解を深め、意識を持ちながら支援の実施に努めます。		
主な行事等		夏祭り、デイキャンプ(月一回)、親子デイキャンプ、清水山ハイキング(月一回)、親子ハイキング、レザークラフト体験、外部講師による経験活動(月一回)、子ども社長塾(月一回)、アウトドアクッキング(月一回)								